



日本橋分会NEWS

9.28(土)開催 第2営業部職場懇話会報告

2024年9月28日(土) 第2営業部 営業部長の二村さんにご出席をいただき、2023年歳暮期の働き方アンケートや、2024年8月に実施したワークスケジュール担当者VOICEについて報告し、意見交換をおこないました。

マルタスクの取組みについて

Q.ギフトセンターや他階催事応援と元階運営を両立するなかでの課題感や今後の取組みについて教えてください

会社コメント

- 簡単なことではありませんが、単なる応援と捉えず、一人ひとりの強みが活かされたマルチタスクにより、One MITSUKOSHIで主体的に取り組めるようになる姿を目指していきたいです。そのためにもどうしたらモチベーションが高まるか、また評価への反映などを含め検討する必要があると考えています。
- 業務改善をはじめ、CRMを推進していくためには、会社・店の戦略の理解を深めることが大切だと思っています。顧客軸のMD業務フローの中で業務の目的やお互いの理解を深める必要があると思っています。面談や1on1のコミュニケーション、また10月以降はステージCの皆様との対話会に取り組んでいきます。
- 上期の応援での割り振りの課題を整理して、営業部内の商販各チームの公平性も再度見直していきたいと思います。

Q.時差時間の背景に「時間外の制限」の回答が一定割合あるため、時間外の制限や目標設定は見直しをお願いします

会社コメント

- 所属の業務改革の評価指標に総実時間外のKPIを設定しましたが、店の戦略、所属内の担当範囲や役割が昨年から変更になる部分もあり公平に評価が難しいと考え、あらためて行動目標として設定していくようにします。

ワークスケジュール担当者VOICE報告

Q. 8月に実施したワークスケジュール担当者VOICEでも、応援や元階POS運営と元階運営の両立に苦戦しているという声や、フルタイム勤務者と早番固定および短時間勤務者のバランスに関する意見が寄せられました

会社コメント

- メンバーにとって働きやすい環境を日々模索しています。2レイヤー面談や日々のコミュニケーションを通じて声を聞き改善に繋げていきたいと思っています。限られた貴重な人材で、生産性を高め所属全体を運営していく上で、短時間勤務者やフルタイム勤務者の個々の強みを見極めたり、各休取得の方法やテレワーク制度の活用、様々な制度の在り方やその運用方法などを立ち止まって検討していく必要があると考えています。



営業統括部第2営業部
販売担当
恵良菜穂子さん



営業統括部第2営業部
本館3階(ミグジュアリー)
山中愛さん

労働組合では働き方をはじめ職場で起きている問題などについて所属や店経営の方々と意見交換しています。疑問や課題に感じていることは近くの組合役員にお寄せください。

三越伊勢丹支部
Viva engage



IMGU LINE



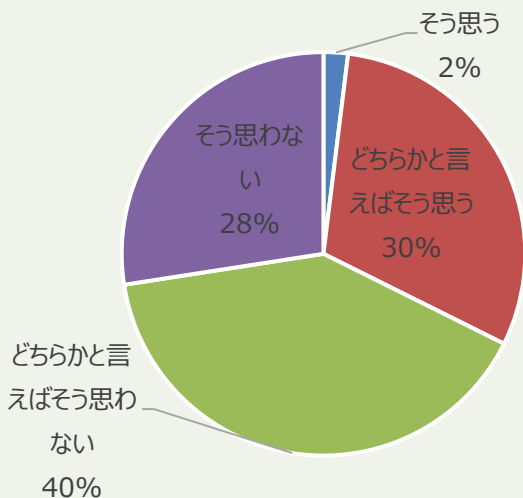
<お問合せ先> 三越伊勢丹支部日本橋分会:中村・奥田・田中・池上・阿部・恵良・山中 発行人メールアドレス:abe.miki@imgu.or.jp



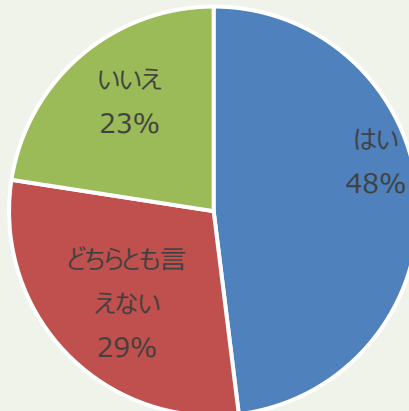
2023年お歳暮働き方アンケートの結果

2024年1・2月に実施した「2023年お歳暮働き方アンケート結果のポイントについて、以下の通り報告します。
回答者数(第2営業部):102名(ステージB9名、ステージC57名、メイト社員36名)

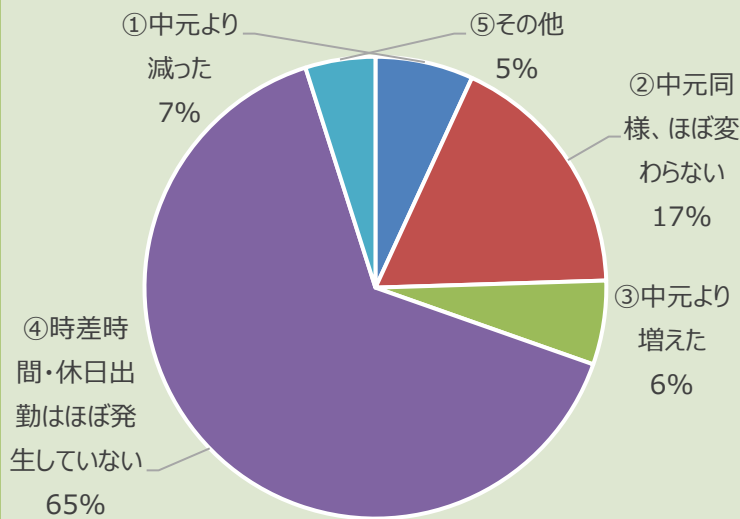
Q お歳暮期間中元階運営もしくは本来業務は円滑に支障なく回すことができましたか



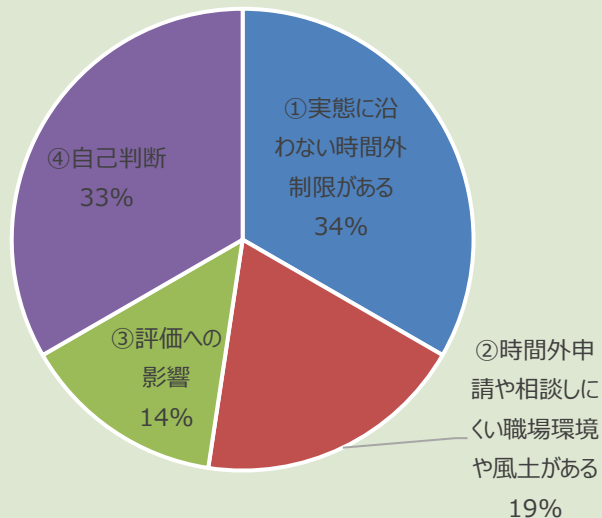
Q 2024年4月以降上長から効率化を目的に業務改善の促しや指示はありましたか



Q お中元期と比較した休日出勤・時差時間の状況について当てはまるものを選んでください



Q 時差時間や休日出勤が発生している理由(時間外を申請していない理由)について当てはまるものを選んでください。→複数回答可



Q 上長に業務改善に向けた意見やアイデアなどを相談又は提案しづらい原因があれば記入してください。

- 組織が大きすぎて業務改善を話し合う機会はありません。上長がどうこうではなく、そもそもの組織体制に限界があるのではないかと。
- 互いに忙しくしていたり休みがずれたりしているためコミュニケーションを満足にとる時間が少ない。
- 上長などに意見や相談するためのミーティング時間やコミュニケーションの時間が設けられていない。
- 多忙につき、真摯に聞き入れている気がしない。優先順位の低さを感じる。
- 話しても何も変わらない為、気を遣ってまで話す必要性がないと感じている。

Q お歳暮応援時の労務面の状況について、所属の課題などご意見などがあれば自由にご記入ください

- お買場を守る人員が手薄になってでもギフトセンターに応援を派遣しているので、店頭で何かあったらと思うと店頭を回ってる時に不安になる。
- 在籍社員人数で割り振りがくるが、お買場を守る人員が配置されているため、応援が入ると元階が手薄になり本末転倒に感じる。
- 元階運営とのバランスについて、閉店間際の解除となる場合、忙しい売場を優先的に解除して欲しい。早番帰宅後、発注やお客さま対応で忙しいのに待ち時間がもったいないと感じる。
- お歳暮時期以外の応援改善は出来ないのだろうか。ギフト時期はある程度長い期間応援を要するため応援が必要だと思う、単発的な催事とかは催事担当の人員を増やしてオペレーションを回すなどの方が効率が良いのではないかと。